

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名	豊かな出会いでにぎわうまち
-----	---------------

施策番号・名	18	地域産業の振興
--------	----	---------

基本事業番号・名	18-02	地域資源の発掘、有効活用
----------	-------	--------------

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額)	人件費 (理論値)	トータル コスト	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)																	
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				① (千円)	② (千円)	①+② (千円)	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)													
18-02-01	産業振興課	対象	市民	平成21年度	人口	平成21年度	柳久保小麦の生産高	平成21年度	柳久保小麦の生産高	平成21年度	柳久保小麦の生産高	平成21年度	100 (%)	1,000	3,239	4,239	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)											
	農畜産物ブランド化支援事業	手段	東久留米柳久保小麦の会への補助	114,606 (人)		3.4 (t)		平成20年度		平成20年度		平成20年度					平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名: 産業振興課 小山輝男				
		意図	市の特産品「柳久保小麦」の生産を支援し、種の保存に寄与する。	114,418 (人)		4 (t)		平成19年度		平成19年度		平成19年度					平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	市に残る伝統的な農産物の伝承と保護が、市民に潤いと誇りを持たせる。	柳久保小麦を中心とした農産物のブランド化を進めるためには、安定的な生産体制と生産量の確保が必要となるが、生産農家の実態は高齢化や人手不足などで先行きが不安な状況が続いており、行政の支援が欠かせないのが現実である。	
						114,376 (人)		5 (t)																							
18-02-02	産業振興課	対象	市民	平成21年度	人口	平成21年度	参加者	平成21年度	参加者	平成21年度	参加者	平成21年度	100 (%)	1,800	3,027	4,827	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)											
	市民みんなのまつり(農業祭)事業	手段	市が後援し、JAと商工会が隔年で実施する市民祭りへの補助	114,606 (人)		110,000 (人)		平成20年度		平成20年度		平成20年度					平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 産業振興課 小山輝男				
		意図	市の農産物を広く紹介すると同時に、市民との交流を持つことにより、都市農業の必要性・重要性を理解してもらう	114,418 (人)		110,000 (人)		平成19年度		平成19年度		平成19年度					平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	縮小	市民との交流・土との触れ合いを通し、都市農業への理解を深める。	市からの補助金としての事業費については現状維持とし、事業実施に伴う人件費については、ボランティアの活用や効率的な運営方法の実施などにより縮小に努めていく。
						114,376 (人)		110,000 (人)																							
18-02-03	産業振興課	対象	商工業者、市民	平成21年度	市民	平成21年度	会場に訪れた人数	平成21年度	会場に訪れた人数	平成21年度	会場に訪れた人数	平成21年度	100 (%)	1,891	978	2,869	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)											
	市民みんなのまつり(商工祭)事業	手段	市が後援し、JAと商工会が隔年で実施する市民祭りへの補助	114,000 (人)		110,000 (人)		平成20年度		平成20年度		平成20年度					平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 産業振興課 小山輝男				
		意図	祭りを通して、市民に市内の商工業をPRし、各種イベント等により市民老若男女に楽しんでもらう。	113,000 (人)		110,000 (人)		平成19年度		平成19年度		平成19年度					平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	縮小	市内最大のイベントである「市民まつり」は、今回市制施行40周年事業の「ふれあいスタンプラリー」も予定されている。スタンプラリー最終回となっており、市外からの多くの来場者が見込まれる。	市民まつりとして定着し、市内最大のイベントになっている。年々事業規模が大きくなっていくに伴い、来場者もイベント参加者が増加しており、事業運営スタッフや会場警備スタッフの増員して対応している。事業規模が大きくなればそれに伴う経費は増加傾向になるが、ボランティアの活用や効率的な運営方法の採用などにより、人件費や事業費の縮小に努めていく。
						113,000 (人)		110,000 (人)																							
18-02-04	産業振興課	対象	市内外住民、市内商工業者、市内農業者	平成21年度	近隣市民、市内農業者	平成21年度	参加者数(近隣市民+市内農業者)	平成21年度	参加者数(近隣市民+市内農業者)	平成21年度	参加者数(近隣市民+市内農業者)	平成21年度	100 (%)	170	2,015	2,185	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)											
	東久留米七福神めぐり運営事業	手段	西武鉄道主催による年1回開催される「東久留米七福神めぐり」を市が後援することにより便乗開催する。	201,000 (人)		3,530 (人)		平成20年度		平成20年度		平成20年度					平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	22年度以降に向けた方向性	縮小	所管課長名: 産業振興課 小山輝男				
		意図	市内の観光資源(七副神、河川等)を活用したイベントの実施により集客を高め、市内特産品の販路拡大をねらう。	201,000 (人)		3,270 (人)		平成19年度		平成19年度		平成19年度					平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	縮小	昨年度より、運営を担うボランティアを募集し活動してもらったところ、反省・改善点はあるものの次回参加希望者も多かった。まち全体のイベントとして盛り上げていくよう工夫する。	西武鉄道が主催する七福神めぐり事業に市も共催事業として実施しているが、休日の事業のため人件費の支出が伴っている。この事業も年々参加者が増えてきており、事業実施に必要な人員数も増えてくるため、市内関係団体などに協力を呼びかけ、ボランティアの増員などを図っていく。
						201,000 (人)		1,520 (人)																							
18-02-05	産業振興課	対象	農作物「柳久保小麦」	平成21年度	柳久保小麦の関係者会議開催回数	平成21年度	柳久保小麦の関係者会議開催回数	平成21年度	柳久保小麦の関係者会議開催回数	平成21年度	柳久保小麦の関係者会議開催回数	平成21年度	100 (%)	86	202	288	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)											
	地域ブランド登録事業	手段	「柳久保小麦」の地域団体商標登録申請	()		2 (回)		平成20年度		平成20年度		平成20年度					平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	平成20年度	22年度以降に向けた方向性	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	現在申請中であり、今後は、地域ブランドとしていかに活用していくかを検討し、シティセールスにつなげる。	現在申請中であり、今後は、地域ブランドとしていかに活用していくかを検討し、シティセールスにつなげる。	
		意図	地域ブランドとしての地域を確立し、そのブランド保護ならびに付加価値を高める。	()		(回)		平成19年度		平成19年度		平成19年度					平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	平成19年度	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	現在申請中であり、今後は、地域ブランドとしていかに活用していくかを検討し、シティセールスにつなげる。	現在申請中であり、今後は、地域ブランドとしていかに活用していくかを検討し、シティセールスにつなげる。
						()		(回)																							